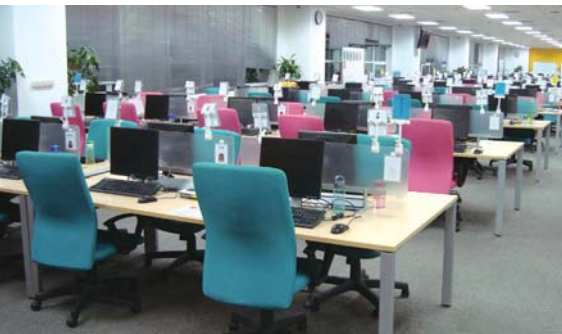


ソフトバンク モバイル株式会社 様

「BPO拠点に機密情報を一切置かない」—— その経営要請をクリアしたのは日中間を結ぶ 「グローバル・シンクライアント」環境

進取の気性で日本の携帯電話市場に革命をもたらし続けるソフトバンクモバイル株式会社。2008年11月、同社はさらなる発展と経営の効率化を求めて、中国・大連市へのビジネスプロセス・アウトソーシング (BPO) を展開した。そこでのクライアント環境の要件は「全社的な情報セキュリティ施策の指針から、現地には機密情報を一切に置かない」というもので、それをクリアしたのが、シンクライアントのグローバルリーダーであるワイズテクノロジーの「Wyseシンクライアント」ソリューションだ。



日本の携帯電話市場のあり方を変えてきたソフトバンクモバイル

ソフトバンクグループ中核企業の1社として躍進を続けるソフトバンクモバイル。徹底した顧客視点からの数々の取り組みによって契約数純増を積み重ね、「日本の携帯電話料金は高額である」「スマートフォンは国内では普及しない」といった既成概念を次々と塗り替えてきた同社は、日本の携帯電話市場の変革を主導するリーディングカンパニーとして国内外から多大な注目を集めるに至っている。

業容拡大に伴い、同社は2008年11月25日に初となる業務拠点の海外展開を果たしている。このとき、BPO拠点として中国・大連市にシェアードセンターが設立。総勢約410人が勤務する同センターでは、約250名の現地オペレーターがユーザー申込書類のシステム登録業務を担当している。大量の顧客情報を扱うこの業務の機密性保持を目的に、大連の環境には情報やデータを一切置かないシンクライアントの導入が検討されることとなる。そして、数ある製品の中から白羽の矢が立てられたのが、ワイズテクノロジーのWyseシンクライアント端末「Wyse V10L」および「Wyse S10」シンクライアントである。

全社的なセキュリティ強化の一環でシンクライアント導入が決定

大連シェアードセンターでの主な業務は、日本全国のソフトバンクショップで承る携帯電話の新規契約や契約内容変更といった同社ユーザーの各種申し込みのうち、デジタルデータ化した書類の処理（内容の確認・分類、システムへの登録・更新など）である。

その際、現地オペレーターが使うクライアント端末には、一般的なPCではなく、シンクライアントが選ばれた。現地で同センターの運営を受託する、軟銀 芘愛思（大連） 科技有限公司 総経理の大塚泰弘氏はその理由を、一にも二にも情報保護の観点から優先されたとして、次のように説明する。

「シンクライアントの採用は、お客様の個人情報に記された契約申込書を現地側で持ちたくなかったという動機につきます。特に、海外拠点へのBPOはこれが初めてであり、目に見えないリスクに対しては細心の注意を払う必要があったのです」

また、大塚氏によると、強固な情報/データ保護は、ソフトバンクモバイルの情報システム部門はもとより、同社の専務執行役員兼情報セキュリティ最高責任者 (CISO) の阿多親市氏の強い意向もはたらいたという。情報セキュリティ施策の全社的推進はソフトバンクモバイルがサービス開始以来貫いてきた経営方針であり、海外のBPO拠点においては、同社の国内拠点以上のセキュリティの確保が必須で求められたわけだ。

WYSE

Wyse S10

Wyse S10は、市販品の中で最も小型で、高度に最適化されたシンクライアントです。機能的でコンパクトな筐体には、USB 2.0に加えシリアルポートを備え、狭いオフィススペースや設置環境にも対応します。一切の無駄を取り除いたICA/RDPIに特化したシンプルなモデルです。



SoftBank

ソフトバンク モバイル株式会社
(SOFTBANK MOBILE Corp.)
<http://mb.softbank.jp>

- 事業内容：
移動体通信事業およびこれに付随する業務等
移動体通信にかかわる電気通信用品およびシステムの保守、販売
電気通信に関するソフトウェアの製作および販売
- 本社所在地：
東京都港区東新橋1-9-1
- 代表取締役社長：
孫正義氏
- 従業員数（2009年3月末現在）：
約5,600人





軟銀琵愛思 (大連) 科技有限公司
SoftBank PS (Dalian) Solution Service CO., Ltd
総経理
大塚 泰弘氏

軟銀琵愛思 (大連) 科技有限公司
SoftBank PS (Dalian) Solution Service CO., Ltd
経理
三浦 史之氏

ソフトバンクモバイル株式会社
情報システム本部
ITオペレーション統括部
諸岡 みどり氏

ソフトバンクモバイル株式会社
情報システム本部
システム基盤統括部
森 龍也氏

ゼロコンフィギュレーションと 高速起動で選ばれた Wyse V10L/Wyse S10シンククライアント

では、市場に揃うさまざまな製品の中からWyseシンククライアントが選ばれたのには、何が決め手となったのか。情報システム本部 ITオペレーション統括部 部長の諸岡みどり氏は、次のように説明する。「候補の中で、まるで電話機のようにケーブルをカチッと挿すだけで直ちに使えるようになるという、文字どおりのゼロコンフィギュレーションを実現しているのはWyseシンククライアントだけでした」

一方、大連シェアードセンター・プロジェクトの主担当を務めた軟銀琵愛思 (大連) 科技有限公司 経理の三浦史之氏は、Wyse V10L/Wyse S10シンククライアントの、6~10秒という起動の速さも選定のポイントとなったと話す。

ここで、同社が構築した、日中間を結ぶグローバル・シンククライアント・システムの構成を確認しておこう。大連シェアードセンターには、前述のWyse V10L/Wyse S10シンククライアントが、本番業務用に約250台、トレーニング/待機用に約90台が導入された。そして、日本のデータセンターには15台のサーバが導入され、それらの上で300台分の仮想デスクトップ環境が稼

働している。なお、ネットワーク・インフラについては、同社のグループ会社ソフトバンクテレコムが提供する、冗長化された高品質な容量30Mbpsの国際IP-VPN回線で、日本のデータセンターと大連シェアードセンターとの間を結んでいる。

シンククライアントならではの 容易な運用管理性を実感

導入後1年以上が経過した現在の評価はどうか。構築プロジェクトを統括した、情報システム本部 システム基盤統括部の森龍也氏は、シンククライアント導入の最大の動機であったセキュリティについて、期待どおりの導入効果を得られているとして次のように話す。「仮想デスクトップ型の完全なるシンククライアント環境なので、そもそも情報漏洩は起こりようがないうえに、端末のUSBポートを無効にするなどの設定も施して万全を期しています」

また、シンククライアントならではの一元管理やメンテナンス性の高さについても、当初の計画どおり、保守要員を置くことなく安定運用を実現している。「Wyseシンククライアントでは端末の配備や交換といった作業が非常に簡単です。これらは、従来のファットクライアント環境においては専任のITスタッフが時間と労力をかけて行っていた作業ですが、シンククライアント環境では、ディスプレイや椅子を新調したり取り替えたりするのと同じ感覚で、だれでも行うことができます」(諸岡氏)

依然として厳しい経済環境の下、内需のみでの成長に限界を感じて海外市場への展開に舵を切る企業が増えている。そうしたグローバル経営の実現に着手した企業にとって、ソフトバンクモバイルのBPOを支えるグローバル・シンククライアント・システムは、まさにリファレンスとなる事例である。大塚氏は、大連のシステ

WYSE

Wyse Thin OS

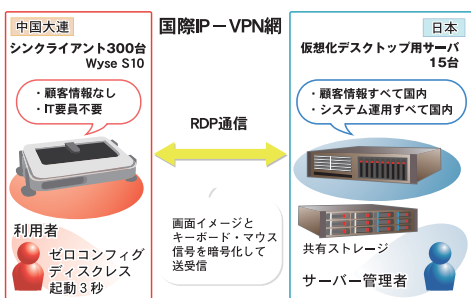
Wyse Thin OSは、超コンパクトなOSサイズに、シンククライアントソリューションが必要とする機能のみを搭載した独自のシンククライアント専用OSです。高速起動、OS自動/高速アップデート、シンククライアントローカル設定を必要としないゼロコンフィギュレーションなど徹底して導入・管理コストを削減、圧倒的なコストパフォーマンスを実現します。



ワイズテクノロジー株式会社

〒100-0006
東京都千代田区有楽町1-7-1
有楽町東京電気ビルディング南館10階
TEL 03-5288-8511 FAX 03-5288-8525
E-mail mkt_jp@wyse.com
Website www.wyse.co.jp

シンククライアントシステム全体構成図



ムが大きなトラブルに見舞われることなく順調に運用できている点を高く評価したうえで、次のように総括する。「初の試みが多い構築プロジェクトでしたが、機密情報の保護を筆頭に、構築前に聞いていたシンククライアントならではの導入効果をそのまま実現しています。ワールドワイドで多くの実績を有するWyseシンククライアントを選んだことが、この成功につながったと思います。運用管理性の高さや起動の速さ、清音性などは実際に使ってみてこそわかる部分であり、一度この環境を体験すれば、もうファットクライアント環境に戻れないでしょう」